

第16回新宿区小学生百人一首かるた大会 試合方法等

しあいほうほう 試合方法

- (1) 当日、組み合わせ抽選による1対1の個人戦で4試合を行う。
- (2) 1部(1~2年生)、2部(3~6年生)内の対戦とする。
- (3) 参加者が奇数の場合、不戦勝の児童がでるため、その選定は主催者が行う。
- (4) 不戦勝の場合、1勝とする。
- (5) 順位決定については、合計勝ち数を最優先とする。合計勝ち数が同位の場合、合計4試合で獲得した平均枚数(小数点第2位)が多い順に順位を決定する。なお、不戦勝の試合は平均枚数の対象とせず、不戦勝を除いた他の対戦記録をもとにした平均枚数で順位を決定する。1位~3位を決定する際に勝ち数・獲得枚数ともに同位の選手がいた場合は順位決定戦を実施する。
- (6) 各部1位~3位の者へは表彰を行う。

ルール

- (1) 「五色百人一首」を使用し、各試合20枚で行う。
- (2) 今大会ではあらかじめ使用するかるたの色を決めておく。試合ごとの色は次の通り。
第1試合：ピンク、第2試合：緑、第3試合：青、第4試合：オレンジ
(順位決定戦を実施する場合：黄色)
- (3) 向かい合って座り、置いてある10枚の札を自分の方に向けて横5枚、縦2段に並べる。境界線の下に、札と札を2センチくらい離して並べる。この時境界線の横幅をはみ出してはならない。上段と下段の間も2センチくらいあける。
その試合が終わるまで、最初に並べた札の位置を動かさない。
- (4) 暗記時間は設けない。全体が並べ終わったら開始する。
- (5) 歌が読まれたしたら、わかったところで取ってよい。相手の札も取ってよい。払ったり、

お だ あいて と て ゆび ちよくせつよ ふだ お と
押し出したりすると相手の取りになる。手のひらか指で直接読まれた札を押さえて取る。

じぶん じんち あいて じんち よ ふだ こと ふだ ふ て あいて
(6) 自分の陣地でも、相手の陣地でも読まれた札と異なる札に触れるとお手つきとなり、相手

と りょうほう て ばあい さき ただ ふだ と ひと と
の取りとなる。両方がお手つきをした場合は、先に正しい札を取った人の取りになる。

まい からふだ よ まいめ よ お かくじと ふだ かぞ まいすう しんばん
(7) 19枚を空札なしで読む。19枚目を読み終わったら、各自取った札を数え、枚数を審判

つた
に伝える。

ちゅういじこう

注意事項

せいざ らく ふくそう さんか か
(1) 正座しやすい楽な服装で参加する。ジャージ可。

けが
(2) 怪我などがないように、爪を切ってくる。

よ はじ こえ だ おと た うご
(3) 読みが始まったら声を出したり、音を立てたり、動いたりしない。

うた よ まえ て かこ うた だい おん りょうて て ふだ
(4) 歌が読まれる前に手で囲ってはいけない。歌の第1音までは、両手の手のひらを札の

げだん した たたみ
下段より下で畳につけておく。

あいず かって せき た
(5) 合図があるまで勝手に席を立たない。

【問合せ】

公益財団法人新宿未来創造財団 地域・子ども部 子ども支援課

新宿区小学生百人一首かるた大会担当

電話:03 - 3232 - 5122